

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	池田町ことばの教室		
○保護者評価実施期間	令和 7年 7月 7日	~	令和 7年 8月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数) 48
○従業者評価実施期間	令和 7年 8月 4日	~	令和 7年 8月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年9月16日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達状態に応じて 個別 ペア 小集団での支援を行っていること	複数の職員でお子さんの様子などを話し合い発達段階に応じた支援を行っている 小集団では活動の流れが分かるよう視覚支援を使いながら端的かつ明確に伝えてから活動を始めている 活動も動的な活動や静的な活動を組み合わせお友だちと関わりを持つことやルールや手順を理解して取り組み「できた」「楽しい」の経験を積み上げる場になるように支援している	子ども一人一人の発達や行動を分析し アセスメントできるようにケース検討や研修を実施していきたい
2	日頃からお子さんの状況を保護者と伝え合い発達の状況について共通理解できています	家庭や園での様子を伺い支援に組み入れたり 毎回支援後に指導の内容や子どもの様子について伝えている 送迎が祖父母の場合でも保護者の方に伝わるよう紙面でも伝えるようにしている 管理者が支援の様子と一緒に見学しながら支援の目的やお子さんの様子をお話しお困りのことを尋ねたり情報交換をする機会を設けている	土曜日など保護者がお休みの時にも指導を組み支援の様子を見て頂けることや話し合いの時間を組み入れていきたい
3	保健センター 各所属園 小学校や病院などとの連携体制がある	個人ノートを活用し通所園の先生にも保護者を通して活動の様子を知って頂くようしている 未就園児のお子さんに対しては月1回の交流日を設けて頂き職員と共に参加している 新入園や新入学に対しても事前に職員同行のともと見学や体験に出かけている 小学校の先生方にも夏休みを利用し集団の様子などを見に来て頂き必要に応じ保護者との顔合わせをして頂いている	保護者の了解の上で 通園先の先生方と共に子どもの支援の状況や課題について情報交換や連携も充実できるように心がけていきたい

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流会の少なさ	保護者の方の控え室として部屋を提供していますが コロナ渦の期間中教室内の出入りを制限していたため現在利用している方が少ない 共働きで平日には送迎も難しく祖父母の方が増えている中 講演会や研修会がなかなか開催できていません	土曜日や日曜日に親子で参加できる行事や講演会などを開催し保護者の交流の場をつくる
2	コロナ前まではOBの方にも参加して頂き行事を行い交流できる場を提供できていたのですが ここ最近親の会活動が行えるようになりましたが交流の場への広がりにまでは繋がっていません	保護者同士が話せる場や行事を多く計画できていない	OBの方にも参加して頂ける行事を開催し保護者の悩みなどが相談できたり仲間作りができる場をつくる
3	子ども主体の療育を行っているため保護者の思いに寄り添った支援ができておらず保護者から「忙しそう」という声がある	指導内容の検討 話し合い 記録等を最優先しているため利用人数が増えてくるとなかなか保護者との時間がとれていません	余裕のある職員体制と懇談を定期的に設ける 懇談時間を夕方や土曜日などに設ける